一般質問

掲載の項目を含め11人の議員が37項目の質問を行い、町長の考えをただしました。

駅前整備

南口のロータリー改善を

11月末に完成予定

質問 バスの乗り入れなどで混雑している海田市駅南口のロータリー、バスターミナルの改善は、いつになるのか。

答弁 警察、広島県、交通事業者との協議が終了したので、九月中旬から工事に着手し、十一月末に完成する予定である。

混雑が解消される予定

高潮対策

浸水被害の早期解決を

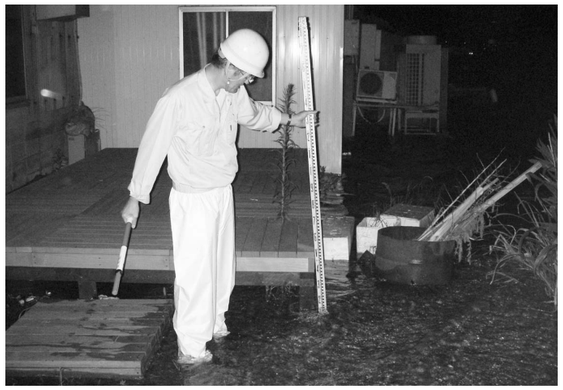
来年度以降に工事着手する

質問 瀬野川河口左岸は、高潮に大雨が重なると、浸水被害を繰り返している。

この高潮対策について、広島県は前向きに考えているようだが、町としては早期解決に向けて、どのように取り組むのか。

答弁 広島県と海田町合同で、地元に対して今後の事業の進め方について説明会を開催する。

事業協力が得られたら、本年度は、河川敷の境界確定および建物調査を実施し、来年度以降に工事着手する予定である。


8月2日の浸水被害

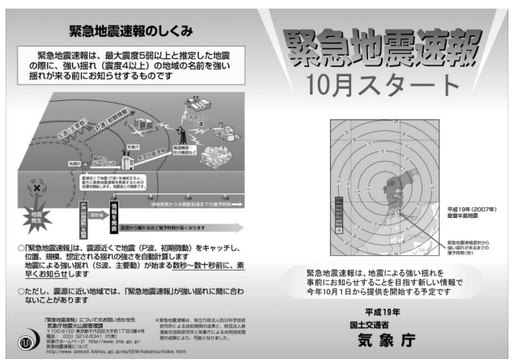
防災対策

緊急地震速報を活用せよ

活用方法を調査、研究する

質問 十月一日から緊急地震速報が全国に配信される。地震の人的被害防止に大変有効だと思うが、受信機を公共施設や学校、保育所に設置して活用してはどうか。

答弁 緊急地震速報については、現在、情報伝達のためのさまざまな機器や伝達手段の開発が進められている。また、町民への周知の方法や避難方法についても検討していく必要がある。今後先進地の事例を参考にして、活用方法の調査、研究をする。



耐震診断

申し込みはあったか

10月から募集をする

質問 今年度から耐震診断の一部が国の補助でできるようになったが、申し込み状況や、周知徹底の方法は。また、耐震改修に対する町独自の助成制度はどのようになっているのか。

答弁 耐震診断士の登録募集を八月三十一日まで行ったので、診断士が決定したら、十月から耐震診断の募集をする。

周知方法は、十月号の町広報での特集や、ホームページで知らせる。

町独自の助成制度は、今後検討していく。

省　エ　ネ　化

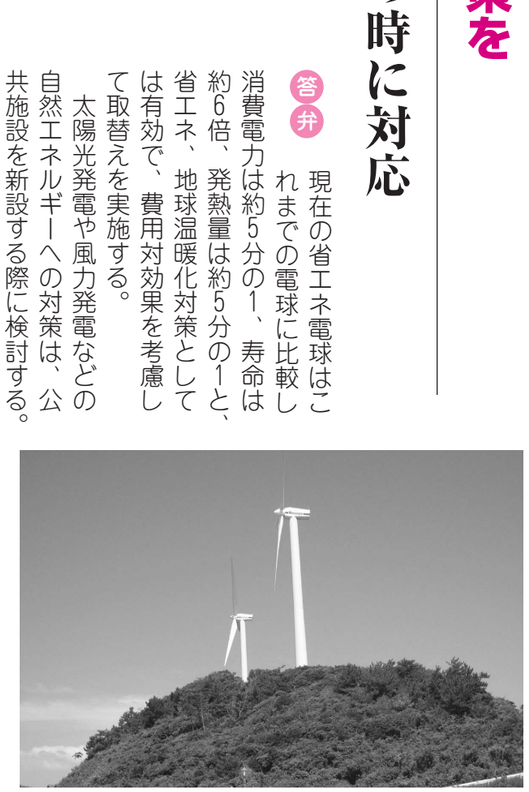
公共施設での対策を

取替えや新設の時に対応

質問　地球温暖化やエネルギー問題が取り上げられる中、省エネ電球に取り替えるなど、公共施設の省エネ化と施設に使用するエネルギー対策およびその計画はどうか。

答弁　現在の省エネ電球はこれまでの電球に比較し消費電力は約5分の1、寿命は約6倍、発熱量は約5分の1と、省エネ、地球温暖化対策としては有効で、費用対効果を考慮して取替えを実施する。

　太陽光発電や風力発電などの自然エネルギーへの対策は、公共施設を新設する際に検討する。



風力発電機

ゴーヤのつるです

壁　面　緑　化

みどりのカーテン事業の推進を

可能な施設に対応

質問　**保育所や学校では、環境教育と植物の観察教育に、その他の施設では環境問題への意識の高揚とヒートアイランド対策の一環として、建物の外壁につる性植物を育て、室内温度を下げる「みどりのカーテン」事業を推進する考えはないか。**

答弁　保育所では、園児たちに植物栽培の手伝いを通じて自然に対する親しみや生命の尊さ、不思議さを学ばせるなど、すでに取り組んでおり、植物の観察や環境問題を考える中で大変良いことだと思っている。

　施設ごとにいろいろな状況があるので、先進事例の効果を検討し、可能な施設には対応していく。

地方応援プログラム

取り組みは

三事業で応募

質問　「頑張る地方応援プログラム」は、地方独自のプロジェクトを自ら考え、取り組む自治体に国が支援をする事業であるが、これを住民に十分周知し、一緒になって独自性の高いプロジェクトを目指す考えはあるのか。

答弁　海田町では、「町内循環バス」、「少人数授業支援事業などによる子育てしやすい環境づくり」、「海田東小学校体育館の大規模改造・耐震補強工事による安心安全な学校づくり」の三事業を応募している。中でも「子育てしやすい環境づくり」事業は、少子化対策の一環として、住民と一体となって展開している。

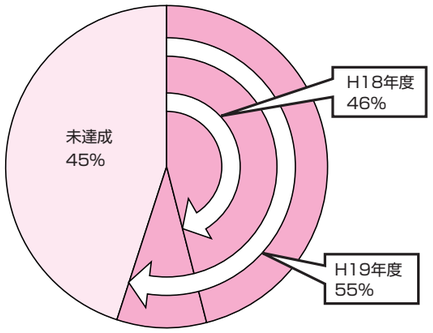
ひまわりプラザでの“赤ちゃん広場パチパチポッ”

行　政　改　革

進み具合は

予定どおり実施している

質問　**平成二十一年度までの行政改革の年度別達成率および効果額はどうなっているか。また、効果額は、財政収支見通しに反映されているのか。**

答弁　達成率は、平成十八年度は46％、平成十九年度は55％であり予定どおり実施している。効果額については、平成十八年度は一億八千万円、平成十九年度は二億八千万円程度を見込んでおり、項目別に整理しなおし、財政収支見通しに反映している。

行政改革の項目別達成率